

海外在留証明書は応募者全員が必要
です。

記載項目が同一であれば、各
企業の書式でも受け付けます。

この書類の訂正には、保護者の訂正印は使用
できません。誤記のあった場合、再発行、
または発行者の訂正印を使用してください。

勤務証明書は保護者の両方またはどちらか
一方が仕事で現地に残る場合に必要です。

記載項目が同一であれば、各企業の書式でも
受け付けます。ただし、入学直前の3月31日
(9月入学は同8月31日)までに帰国の予定
であれば、必要ありません。

個人経営等で発行者と保護者が同じ場合は、パスポート
及びAまたはBの書類で確認します。

A 光熱費の支払い領収書等

B 領事館発行の在在期間の証明書

東京都立三田高等学校長 殿

年 月 日

発行者 (事業所・所在地・代表者・公印)

証明書が発行さ
れた日です。

海外在留証明書

貴高等学校志願者 _____ は、下記の通り保護者 _____
に同行し、海外に在留していたことを証明します。

記

I 志願者滞在期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

保護者滞在期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

在留地 国名 _____ 都市名 _____

II 志願者滞在期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

保護者滞在期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

在留地 国名 _____ 都市名 _____

注1 在留地が複数の場合には、最近のところをIに、その前のところをIIに書いて下さい。
印は公印(職印)を押印、外国人の場合はサインして下さい。

注2 保護者が志願者ととも帰国できない場合は、下の勤務証明書欄にもご記入下さい。
なお、勤務予定の開始日は入学予定日にして下さい。

勤務証明書

保護者 _____ は、下記の通り勤務する予定であることを証明します。

記

勤務予定期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 以降 (_____ 年 _____ 月 _____ 日 まで)

勤務地 国名 _____ 都市名 _____

全項目必ず必要
です。ただし、公印に
関しては、印の
習慣の無い国か
ら帰国の場合は
サインでも受け
付けます。

滞在期間につい
ては、下記の
「重要」で確認
してください。
一度帰国し、日
本の学校に在籍
した場合は、そ
こで海外滞在期
間は切れます。

1年以内の帰国
が条件です。
帰国時期が未定
の場合、「翌年
3月31日
まで」、または
「未定」と記入
してください。
空欄は受け付け
られません。

重要

志願者が海外にいても、保護者の一方でも帰国した時点で滞在期間は終わります。
(日本で教育が受けられるのに、本人の希望で現地に残ったと考えます。)したがって、保護者のどちらか一方でも日本に残っていた場合は帰国生とはみなされません。